

(別添2)

「京都市勧業館大規模改修基本計画」作成業務
受託候補者選定審査評価基準

項目	評価の着眼点	配点	係数
実施体制及び業務実績 (35点)	仕様書に定められた業務を安定的に実施することができる実施体制か。	5	2
	管理技術者は、十分な業務実施能力及び業務実施経験を有しているか。	5	2
	類似又は関連する業務実績を有しているか。	5	3
提案内容 (60点)	仕様書の内容を十分に理解し、企画提案書の内容に具体性があるとともに実現性の高いものとなっているか。	5	2
	「新京都戦略」等を理解し、京都市勧業館が目指すべき方向性の検討について、適切に実施できる提案内容となっているか。	5	3
	改修項目の検討について、劣化度調査、課題整理、目指すべき方向性等を踏まえて、適切に実施できる提案内容となっているか。	5	3
	仕様書のほか、本業務の目的を達成するため、専門性を活かした、更に独自性の高い付加価値や工夫がある提案内容となっているか。	5	3
	劣化度調査をはじめ、各項目の検討を適切に実施し、契約期間内に基本計画が完成するスケジュールになっているか。	5	1
見積額 (5点)	以下の式により配点する。 ただし、小数点以下第3位を切り捨てる。 $5 \text{点} \times (\text{受託希望者中の最低見積額}) / (\text{受託希望者の見積額})$	5	1
合計			100

<係数について>

<参考:審査基準>

評価項目のうち、重要度の高いものや提案内容に差が出やすい項目に対して、係数を設定する。計算は以下の式により行う。
項目審査点 × 係数

審査基準	5点満点
優れている	5点
やや優れている	4点
普通である	3点
やや劣っている	2点
劣っている	1点